

令和2年度学校評価書

韮崎東中学校

『令和2年度学校評価計画』

【自己評価】

教職員による学校評価アンケート

前期 令和2年 7月 7日～ 7月22日

無記名・評定尺度4段階・一部記述式・単純集計

【回答者数 28名】

後期 令和2年11月 9日～11月13日

無記名・評定尺度4段階・一部記述式・単純集計

【回答者数 29名】

【学校関係者評価】

実施日 令和3年2月4日（木）

評価者 学校評議員（4名）

（参考アンケート）

（1）保護者アンケート 令和2年11月 9日～11月13日

無記名・評定尺度5段階（E：わからない）・一部記述式・単純集計・厳封提出

【回収者数 377名】

（2）生徒アンケート 令和2年11月 9日～11月13日

無記名・評定尺度4段階・一部記述式・単純集計

【回収者数 367名】

『回答方法および数値について』

- （1）各項目についての評価は（ A：そう思う B：だいたいそう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない ）の4段階から該当すると思う段階（A・B・C・D）の1つに○印を付けて回答している。
- （2）参考として付けた、保護者アンケート結果、生徒アンケート結果については、全校からの回答割合を%数値で表記してある。
- （3）表中のavg. は、A～Dを各4～1点として、平均として表した数値である。平均として2.5ポイントが目安となる。
（E：わからない については点数化していない）
- （4）前期比、前年比欄は、このavg. を前期（本年度7月実施）と比較したもの、前年（昨年度11月実施）と比較した数値である。

令和2年度 自己評価(後期)

1「そう思う」というイメージが高かった(平均が高かった)内容

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
1	教育環境(職員・施設・生徒・家庭・地域)の実態に即した学校経営が行われている。	3.5	0.1	-0.1
	課題・意見			
	コロナ対策を考えた慎重な経営が行われていると思う。			
総括	◎今年度はコロナの影響で変更しなければならないことがあったが、臨機応変に実態に即した学校経営に努めることができた。			
改善	◎今後も全職員が協力して適切に行っていく。			

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
9	校舎内外の施設設備について定期的に点検し、結果を的確に処理(整備・保全)している。	3.6	-0.2	0.0
	課題・意見			
	記述なし			
総括	◎毎月の安全点検や日常の連携で早めの対応を心がけることができた。			
改善	◎今後も全職員が協力して適切に行っていく。			

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
15	日常の健康観察や健康に対する自己管理能力向上のための取り組みが行われている。	3.5	0.0	0.2
	課題・意見			
	記述なし			
総括	◎毎日の健康観察や生徒の訴えに的確に対応することができた。			
改善	◎今後も生徒の実態に即して適切に推進していく。			

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
16	授業時数管理を適切に行い、年間指導計画を遅滞なく実施している。	3.5	0.1	0.1
	課題・意見			
	コロナの影響で残念ながら達成できなくなりました。			
総括	◎計画的な回復授業の実施と教務主任による時数管理により遅滞なく実施することが出来ている。			
改善	◎今後も年間計画に沿って適切に管理していく。			

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
20	道徳の時間授業時数管理を適切に行い、年間指導計画を遅滞なく実施している。(改善項目④)	3.6	0.2	0.2
	課題・意見			
	記述なし			
総括	◎教科化にとまどない、学年内で連携しながら適切に実施できている。			
改善	◎今後も年間計画に沿って適切に管理していく。			

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
25	読書活動は効果的に計画・実施されている。	3.6	0.2	0.2
	課題・意見			
	記述なし			
総括	◎慈愛の時間を中心に適切な読書指導が出来ている。			
改善	◎今後も年間計画に沿って適切に指導していく。			

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
30	生徒の規範意識をはぐくむ指導をしている。	3.7	0.3	0.3
	課題・意見			
	記述なし			
総括	◎昨年度・前期と比較し、大幅に高い評価を得ることができた。			
改善	◎今後も経営方針や努力点を踏まえて協力的に行う。			

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
35	保護者や地域に、学校の教育活動について広報している。	3.6	0.3	0.0
	課題・意見			
	記述なし			
総括	◎学校だより、学年・学級だより、保健、給食、図書など多くのたよりで広報するとともに、HPやユーチューブなどで学校生活の様子を伝えることができた。			
改善	◎今後は学校ブログの充実を目指して努力していきたい。			

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
39	慈愛の時間は効果的に運用されている。	3.7	0.4	0.1
	課題・意見			
	記述なし			
総括	◎落ち着いた雰囲気の中で実施できている。読み聞かせも実施することが出来た。			
改善	◎さらに充実したものにするため、開始時間には担任も教室で指導できるように心がけたい。			

2 「そう思わない」というイメージが高かった(平均が低かった)内容

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
33	地域の人材や施設を活用し、地域の教育力を生かす取り組みがされている。	2.9	-0.1	-0.2
	課題・意見			
	できる範囲の取り組みがなされていると思う。			
総括	◎新型コロナウイルス感染症の影響で実施することができなかった。			
改善	◎例年通り実施できるよう務める。			

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
40	レベルアップ学習は効果が認められる。(改善項目⑧)	2.8	0.3	0.4
	課題・意見			
	下校させ、家で学習させた方が良いのではないかと感じる。			
	テストの課題に取り組む時間になってしまっている。			
	コロナ対策で昨年とは違う方法で行われているため、本来の狙いは達成できていないと思う。			
	今回は2者懇の日程と重なっていたため、質問などに答えることができませんでした。そのため、個々での自習となってしまった。			
総括	◎昨年度よりは高い数値を示しているが、今回のアンケートの中で一番低い結果となっている。しかし、生徒アンケートでは高い数値を示している。			
改善	◎来年度の教育課程を編成する上で、目標とする効果、取り組み内容、時間などについて生徒のニーズに合わせて検討したい。来年度も改善項目として取り組んでいく必要がある。			

参考資料

生徒アンケート

番号	質問項目	今回avg.	昨年	
20	テスト前のレベルアップ学習は役に立っていると思いますか。	3.6	3.4	

3 昨年度同期と比べイメージが良くなった(平均が高くなった)内容

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
6	会議は、能率的に行われている。(改善項目①)	3.1	0.3	0.3
	課題・意見			
	会議は協議するものだけで構成した方が能率的になると思う。			
	時間の効率化より中身の充実について考えたい。本当に話し合うべき内容を確認したいことにかぎって取り上げられず、あとから連絡などで急に出てくることが多いように思います。			
総括	◎前期の評価を受け、改善に取り組んだ結果、会議時間を大幅に短縮することができた。そのため、昨年度よりも高い評価を得ることができた。今後はコメントにもあるように、「中身の充実」を課題に「内容の精選」「検討課題の洗い出し」などに取り組んでいきたい。来年度も改善項目として取り組んでいく必要がある。			

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
30	生徒の規範意識をはぐくむ指導をしている。	3.7	0.3	0.3
	課題・意見			
	記述なし			
総括	◎昨年度・前期と比較し、大幅に高い評価を得ることができた。			
改善	◎今後も経営方針や努力点を踏まえて協力的に行う。			

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
31	短学活・慈愛の時間・係り・当番活動の様子を見ると自主的態度・責任感が育っている。	3.2	0.2	0.1
	課題・意見			
	学年が上がるにつれ当番に来なくなる気がします。 まだまだ、指示待ちの生徒が多い。			
総括	◎昨年度より高い評価を得ているが、生徒の自主性については全職員が感じている課題である。			
改善	◎これからの社会を生き抜く子供達には必要不可欠な能力である。自主性や積極性を身につけさせるためにどのような方策が効果的なのかなど、来年度の課題として取り組んでいきたい。			

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
32	不登校生徒を復帰させる指導, 不登校生徒をつくらない指導をしている。(改善項目⑥)	3.4	0.2	0.1
	課題・意見			
	記述なし			
総括	◎昨年より大きな数値をえることができたが、不登校生徒数は決して少なくない。			
改善	◎担任が家庭訪問して家庭での状況を確認しながら指導を継続してきている。不登校対策会議も定期的に設けられ、対策としてかがやき教室等外部機関との連携を進めて対応を図ってきている。SCの利用が進められて効果を上げてきているが、目に見えるほどの成果にはつながらないので継続する必要がある。今後も中心に組織的な対応をこころがけ、外部機関とも連携しながら、未然防止・早期発見・対応を心がけていきたい。			

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
35	保護者や地域に、学校の教育活動について広報している。	3.6	0.3	0.0
	課題・意見			
	記述なし			
総括	◎学校だより、学年・学級だより、保健、給食、図書など多くのたよりで広報するとともに、HPやユーチューブなどで学校生活の様子を伝えることができた。			
改善	◎今後は学校ブログの充実を目指して努力していきたい。			

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
39	慈愛の時間は効果的に運用されている。	3.7	0.4	0.1
	課題・意見			
	記述なし			
総括	◎落ち着いた雰囲気の中で実施できている。読み聞かせも実施することが出来た。			
改善	◎さらに充実したものにすするため、開始時間には担任も教室で指導できるように心がけたい。			

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
40	レベルアップ学習は効果が認められる。(改善項目⑧)	2.8	0.3	0.4
	課題・意見			
	下校させ、家で学習させた方が良くはないかと感じる。			
	テストの課題に取り組む時間になってしまっている。			
	コロナ対策で昨年とは違う方法で行われているため、本来の狙いは達成できていないと思う。 今回は2者懇の日程と重なっていたため、質問などに答えることができませんでした。そのため、個々での自習となってしまった。			
総括	◎昨年度よりは高い数値を示しているが、今回のアンケートの中で一番低い結果となっている。			
改善	◎来年度の教育課程を編成する上で、目標とする効果、取り組み内容、時間などについて検討したい。来年度も改善項目として取り組んでいく必要がある。			

4 昨年度同期と比べイメージが悪くなった(平均が低くなった)内容

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
8	校内研究は適切に推進されている。(課題設定・組織・運営)	3.3	-0.4	0.3
	課題・意見			
	もう少しお互いに時間を大切にしようという空気が出れば良いと思います。			
	コロナ関係でやむを得ないと思う。 コロナの影響で適切に進められずすみません。コロナを考えた課題設定が必要だったと反省しています。			
総括	コロナの影響で対話的な取り組みが実施できなくなってしまったため、昨年度よりも低い数値になってしまった。しかし、HPにおけるリモート授業などICTの活用について職員全体のスキルアップができたことは大きな成果と考える。			
改善	コロナの影響がどの程度になるか予想がつかないが、新学習指導要領の全面実施に向けて、評価などについても研究を進めていく必要があると考える。また、ICTの活用方法についても引き続き進めていきたい。			

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
9	校舎内外の施設設備について定期的に点検し、結果を的確に処理(整備・保全)している。	3.6	-0.2	0.0
	課題・意見			
	記述なし			
総括	◎毎月の安全点検や日常の連携で早めの対応を心がけることができた。			
改善	◎今後も全職員が協力して適切に行っていく。			

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
22	体験学習は効果的に計画・実施されている。	3.1	-0.5	0.0
	課題・意見			
	感染症対策のため、実施できていない。(2)			
総括	◎コロナ関係でやむを得ないと思うが、その中でも修学旅行や学校ウェディングなど工夫しながら実施することができた。			
改善	◎コロナの影響がどの程度になるか予想がつかないが、教育課程の中に位置づけ、地域の人材などを効果的に活用しながら実施していきたい。			

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
36	PTA活動推進のため、教師・保護者が積極的に関わっている。	3.1	-0.2	0.0
	課題・意見			
	感染症対策のため、実施できていない。(2)			
総括	◎コロナ関係で今年度は総会の紙面提案・決議、各行事の縮小・中止の方向で実施してきた。			
改善	◎PTA活動についてはこれまでも形骸化や保護者の負担増などについて議論されていった。コロナ禍で学校において新しい生活様式が求められている昨今、PTA活動についても目的や活動内容について大きく見直すチャンスととらえている。保護者の意見を尊重する中で不易と流行という視点を大切に来年度の活動計画を立案していきたい。			

5 改善項目への取り組みの状況

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
17	生徒が授業において「わかる」「できる」という思いを感じている割合は高いと思う。(改善項目②)	3.2	0.2	0.0
	課題・意見 毎日の授業を余裕なく進めてしまっている。			
総括	◎昨年度より多少高い数値となっているが、今年度はコロナの影響で指導計画の遅れを取り戻すことに意識が強くなり、生徒の理解度を慎重に分析しながら進めることが難しかった。 ◎生徒アンケートでは3.5と前回より高い数値を示しているが、保護者アンケートでは2.6と低い数値となっている。			
改善	◎我々教師にとって、わかる授業の創造は最も大切な課題であると考えている。生徒の能力や発達段階に応じてどのように授業を進める必要があるのか、来年度も継続して改善項目として取り組み、生徒から「できる」という回答が得られるよう努めていきたい。			

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
18	授業において個に応じたきめ細かな学習指導に取り組んでいる。(改善項目③)	3.1	0.1	0.1
	課題・意見 個に応じるためには教員数が増えなければ不可能か？ 放課後は部活動などもありなかなか個別に見てあげる時間がない。 コロナの影響でそれだけの余裕がない。			
総括	◎TTや学習支援員によるフォローで個に応じた学習指導への取り組みで、昨年度より多少高い数値となっている。			
改善	◎TTの工夫や学習支援員による手厚いフォローなど、個に応じた学習指導のあり方について継続して研究を進めていきたい。			

参考資料

生徒アンケート

番号	質問項目	今回avg.	昨年
7	あなたは、授業で学んだことが身についていると思いますか。	3.3	3.4
8	先生はわかりやすい授業をしてくれますか。	3.5	3.4

保護者アンケート

番号	質問項目	今回avg.	昨年
6	お子さんは、学校の授業がわかりやすいと言っていますか。	2.6	2.0

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
26	家庭学習を支援する手立てを行っている。(改善項目⑤)	3.1	0.0	-0.1
	課題・意見 笛吹けど雀踊らず。 自分あまりできていない。			
総括	◎前年度と同じ数値、前期より-0.1減少した結果となった。また、生徒の数値は3.3であるが保護者の数値では2.8と家庭内の意識のずれが見られる。しかし、どちらも昨年度よりは高い数値を示している。			
改善	◎家庭学習については幼少時からの習慣が大きく影響してくると考える。課題(宿題)の与え方、自主学習の取り組み方法など、発達段階に応じてどのように指導していくかを課題に来年度も継続して取り組んでいきたい。			

参考資料
生徒アンケート

番号	質問項目	今回avg.	昨年
11.0	あなたは、家庭で毎日勉強していますか。	3.3	3.0

保護者アンケート

番号	質問項目	今回avg.	昨年
7	お子さんは、家庭で毎日勉強していますか。	2.8	2.4

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
38	「通信表の二期制」の目的は達成されている。(改善項目⑦)	3.2	0.1	0.2
	課題・意見			
	記述なし			
総括	◎昨年度、前期より高い数値を得ることができた。			
改善	◎今年度は3学期制に戻して2年目となる。通信票の内容については新学習指導要領の改訂にともない来年度より大きく変わるため、移行に向けた取り組みが必要となっている。今後は望ましい3学期制の教育課程(年間活動計画)について検討を進めていきたい。			

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
43	いじめのない学校づくりができている。(改善項目⑨)	3.4	0.2	0.0
	課題・意見			
	記述なし			
総括	◎昨年度より高い数値を得ることができた。しかし、いじめほどの学校にも起こりうるのが「いじめ」という認識のもとで対応を図りたい。教師個人として、組織としていじめのない学校づくりに取り組んでいきたい。			
改善	◎今後も生徒指導部会、いじめアンケートなどを効果的に活用し、いじめの「早期発見、即時対応、早期解決」ができる組織的な取り組みをこころがけていきたい。			

『学校関係者評価』

1 学校関係者評価委員会

実施日 令和3年2月4日（木）

評価者 学校評議員（4名）

2 評価内容

○おおむね高い評価を受けているようである。指摘されたところについては真摯に受け止め改善して行って欲しい。

○表彰の記録から体育面・文化面ともに素晴らしい成果を上げている生徒が多くいる。生徒の才能や可能性を更に伸ばす教育活動を行ってほしい。

○アンケート結果から「教師の指導方針」について不安に感じている様子がみられるが、真摯に受け止め、どの教師も同じ方針で教育活動に取り組んでいけるよう努力していただきたい。

○レベルアップ学習の取り組み方法について検討しているようだが、生徒や保護者のニーズなどを考慮しながらより効果的な方法を模索して行ってほしい。

○東中生はまじめであいさつもよくできるというイメージがあるが、そのよさを大切にしながら、リーダー性を発揮したり自分の思いを主張できるような人間に育ててほしい。

○コロナ禍で生活面や学習面での対応が大変だと思うが、学習面での遅れがないようにするだけでなく、制限のある中でも行事等が充実したものになるために努力してほしい。

令和3年度重点項目の設定

1 令和3年度に重点項目として取り組んでいきたい項目

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
6	会議は、能率的に行われている。(改善項目①)	3.1	0.3	0.3
	課題・意見			
	会議は協議するものだけで構成した方が能率的になると思う。 時間の効率化より中身の充実について考えたい。本当に話し合うべき内容を確認したいことにかぎって取り上げられず、あとから連絡などで急に出てくることが多いように思います。			
総括	◎前期の評価を受け、改善に取り組んだ結果、会議時間を大幅に短縮することができた。そのため、昨年度よりも高い評価を得ることができた。今後はコメントにもあるように、「中身の充実」を課題に「内容の精選」「検討課題の洗い出し」などに取り組んでいきたい。来年度も改善項目として取り組んでいく必要がある。			

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
17	生徒が授業において「わかる」「できる」という思いを感じている割合は高いと思う。(改善項目②)	3.2	0.2	0.0
	課題・意見 毎日の授業を余裕なく進めてしまっている。			
総括	◎昨年度より多少高い数値となっているが、今年度はコロナの影響で指導計画の遅れを取り戻すことに意識が強くなり、生徒の理解度を慎重に分析しながら進めることが難しかった。 ◎生徒アンケートでは3.5と前回より高い数値を示しているが、保護者アンケートでは2.6と低い数値となっている。			
改善	◎我々教師にとって、わかる授業の創造は最も大切な課題であると考えます。生徒の能力や発達段階に応じてどのように授業を進める必要があるのか、来年度も継続して改善項目として取り組み、生徒から「できる」という回答が得られるよう努めていきたい。			

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
18	授業において個に応じたきめ細かな学習指導に取り組んでいる。(改善項目③)	3.1	0.1	0.1
	課題・意見 個に応じるためには教員数が増えなければ不可能か？ 放課後は部活動などもありなかなか個別に見てあげる時間がない。 コロナの影響でそれだけの余裕がない。			
総括	◎TTや学習支援員によるフォローで個に応じた学習指導への取り組みで、昨年度より多少高い数値となっている。			
改善	◎TTの工夫や学習支援員による手厚いフォロー、ICTの活用などを工夫することで、個に応じた学習指導のあり方について継続して研究を進めていきたい。			

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
20	道徳の時間授業時数管理を適切に行い、年間指導計画を遅滞なく実施している。(改善項目④)	3.6	0.2	0.2
	課題・意見 記述なし			
総括	◎教科化にともない、学年内で連携しながら適切に実施できている。			
改善	◎以前は【授業時数の確保】を目標に評価してきたが、教科化にともない今後は【年間計画に沿って学年間の連携をとりながら適切に実施していく】ことを重点項目として取り組んでいきたい。			

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
26	家庭学習を支援する手立てを行っている。(改善項目⑤)	3.1	0.0	-0.1
	課題・意見 指導しているが、なかなか定着しない。 自分あまりできていない。			

総括	◎前年度と同じ数値、前期より－0.1減少した結果となった。また、生徒の数値は3.3であるが保護者の数値では2.8と家庭内の意識のずれが見られる。しかし、どちらも昨年度よりは高い数値を
改善	◎家庭学習については幼少時からの習慣が大きく影響してくると考える。課題(宿題)の与え方、自主学習の取り組み方法など、発達段階に応じてどのように指導していくかを課題に来年度も継続して取り組んでいきたい。

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
32	不登校生徒を復帰させる指導, 不登校生徒をつくらない指導をしている。(改善項目⑥)	3.4	0.2	0.1
	課題・意見			
	記述なし			
総括	◎昨年より大きな数値をえることができたが、不登校生徒数は決して少なくない。			
改善	◎担任が家庭訪問して家庭での状況を確認しながら指導を継続してきている。不登校対策会議も定期的に設けられ、対策としてかがやき教室等外部機関との連携を進めて対応を図ってきている。SCの利用が進められて効果を上げてきているが、目に見えるほどの成果にはつながらないので継続する必要があると感じる。今後も中心に組織的な対応をこころがけ、外部機関とも連携しながら、未然防止・早期発見・対応を心がけていきたい。			

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
38	「通信表の二期制から三学期制」への移行は効果を上げている。(改善項目⑦)	3.2	0.1	0.2
	課題・意見			
	記述なし			
総括	◎昨年度、前期より高い数値を得ることができた。			
改善	◎今年度は3学期制に戻して2年目となる。通信票の内容については新学習指導要領の改訂にともない来年度より大きく変わるため、移行に向けた取り組みが必要となっている。今後は【望ましい3学期制の教育課程(年間活動計画)の編成】について検討を進めていきたい。			

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
40	レベルアップ学習は効果が認められる。(改善項目⑧)	2.8	0.3	0.4
	課題・意見			
	下校させ、家で学習させた方が良くはないかを感じる。			
	テストの課題に取り組む時間になってしまっている。			
	コロナ対策で昨年とは違う方法で行われているため、本来の狙いは達成できていないと思う。今回は2者懇の日程と重なっていたため、質問などに答えることができませんでした。そのため、個々での自習となってしまった。			
総括	◎昨年度よりは高い数値を示しているが、今回のアンケートの中で一番低い結果となっている。			
改善	◎来年度の教育課程を編成する上で、目標とする効果、取り組み内容、時間などについて検討したい。来年度も改善項目として取り組んでいく必要がある。			

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
43	いじめのない学校づくりができています。(改善項目⑨)	3.4	0.2	0.0
	課題・意見			
	記述なし			
総括	◎昨年度より高い数値を得ることができた。しかし、いじめはどの学校にも起こりうるのが「いじめ」という認識のもとで対応を図りたい。教師個人として、組織としていじめのない学校づくりに取り組んでいきたい。			
改善	◎今後も生徒指導部会、いじめアンケートなどを効果的に活用し、いじめの「早期発見、即時対応、早期解決」ができる組織的な取り組みをこころがけていきたい。			